

藤棚新聞



第34号

発行

2014年 2月20日

藤棚新聞

一人ひとりの力を結集して、つないでいく



藤棚1番街協同組合理事長 米山博之

米山理事長をスーパー・マルヤマ戸部店にお訪ねしました。お目にかかるのと、すぐにミケランジェロの厚い画集を取り出して、たくさんのお絵を見せてくださりながらお話を始めました。米山さんは絵が大変にお好きなのだそうです。

「ミケランジェロは、たった一人でシステーナ礼拝堂の絵を4年かけて完成しました。一人で足場を組んで、絵の具にまみれながら壁と天井の絵を描き続けたのです。

私達一人ひとりには寿命があって線香花火の力です。そして線香花火の多くの人の力を結集することで素晴らしい結果を期待できます。つまり、多くの先人がやったことをつないでいくのが私達の役目なのです。藤棚1番街では、下町的なおしゃれがミックスされたセンスのよい美容室や理容室が増えてきました。以前からあるお店と力を合わせて、お店を上手に利用するようなイベントをやっていきたくて考えています。



親と子のきずなを再確認しあって深めていく、そして子供たちの声が響くような街にしたいのです。今、商店街の若い人たちが元気です。お客さんといっしょになって町全体を盛りたてて元気にしていって欲しいと思います」と熱心に話してくれました。

にしく市民活動支援センター5周年イベント 手作りのイベント、市民の力を結集！

「交流・つながる」をキーワードに多くの活動団体やボランティアの人たちをサポートしてきた、にしく市民活動支援センターが、1月18日(土)に西地区センターで5周年イベントを開催しました。



この日は9ステージと18ブースの団体を中心に約100名が参加。前日から会場の養生や机の用意などの準備を行い、当日は午前11時の杉豊太鼓同好会の力強い演奏でスタート。市民による特別企画「にしく大声トライアル～横浜の中心であなただの自慢を叫ぶ」では、自分の自慢を3秒で叫んで声の大きさや自慢などを競いました。大声大賞は小学生(8歳)の「僕の自慢はサッカーー！」、ユニークで賞は高校生(15歳)「料理が得意だあ！」、カワイイで賞は小学生(8歳)の「お父さんお誕生日おめでとう！！」が獲得しました。

それぞれのブースでも、活動団体の日頃の活動内容が実演、展示され、会場は約600名の来場者で賑わいました。主催者のにしく市民活動支援センターは、「参加者全員で5周年イベントを作り上げたという達成感があり、ぜひ今後の活動につなげたい」と語ってくれました。



この町、
この人

ロックミュージシャン 鈴木 磨(オサム)さん

愛しくて 愛しくて キミを見つめた 愛しくて
愛しくて きみをぎゅっとした ロックバンド

“ヒューマンロスト” ミニアルバムから。オサムさんのややハスキーで、優しく語りかける歌い方にジーンときます。オサムさんのバンド“ヒューマンロスト”のボーカルで、この曲を作詞したマコさんが昨年6月に亡くなったのです。平成14年にプロデビュー以来、ともに歌い活動してきた仲間との別れの悲しみは計り知れません。



オサムさんは西区境之谷生まれ、稲荷台小学校出身で野球好き、ギターは中学生の時から始めました。ロックの魅力は、「歌うとすっきりするところがいい」と言います。かつて音楽番組を担当していたとき、そのあとの番組の長淵剛さんと話がまとまって、一緒にCD製作までしました。その時から長淵剛さんの「乾杯」のような歌も歌うようになりました。

これからは、マコさんが愛情を持って育てた5歳の息子さんといっしょに関内でのライブを続けるそうです。この時はロック調ではなく、フォーク調です。みなさま、一度おいでになりませんか。

バンド名の“ヒューマンロスト”は太宰治の作品「人間失格」からオサムさんが名づけました。オサムさんは、時々青森の太宰治の生家を訪れるくらい好きなのだそうです。(F)

西区 街の名人・達人まつり



地域にすっかりお馴染みになった西区 街の名人・達人まつりは、「区制70周年を一緒にお祝いしよう！」をサブタイトルにして今年12回目を迎えて、2月22日(土)10時~16時に藤棚地区センターで開催されます。入場無料。



主催する「にしく名・達の会」の高野会長(写真)は、「区民のみなさんに活用していただきたい。活動の発表や体験を通じて、地域のみなさんとの交流を深めてともに元気になりたい。」と話してくれました。



当日は、伝統芸能、芸能・音楽、体験講座、作品展示・販売、子ども向け催し、模擬店、フリーマーケットなどが催されます。

またファッションショーの出場者を募集しています。出場時間は、12:00~13:00頃(予定)詳しくは、にしく名・達の会ホームページ

<http://nishikumeitatsu.town-web.net/>

<http://nishikumeitatsu.town-web.net/k/indexhtml>

または にしく名・達の会 / 高野 TEL 090-5525-7870



こんにちは、ぐるーぷ！ お琴サークル

心地よい絃が弾ける音、正月には必ず聞こえてくる音色は琴の音です。20年くらい前に、ぜひ日本の伝統音楽を広めて欲しいという周囲からの依頼を受けて高橋さんが始めました。テトロンでできた13本の絃を13個の琴柱(ことじ)で支えて、三つのツメを使って弾く音は、近くで聞くとより優しく、魅力的です。



今や宮下社の大師範でもある高橋さんに、長く弾いてきた要因を聞くと「もっと芸術性を高めたい一心のままやってきた」とのこと。今でも家元での練習はずっと欠かさず続けています。東久保町にお住まいの高橋さんに「音が大きいので、自宅でのレッスンは可能ですか」と聞くと、「逆に喜ばれているんですよ」。その実力が評価されて近所の方々からも理解されているようです。

指導するときは、キャリアに応じて、時間、内容を変えています。初心者は「荒城の月」[浜辺の唄][ふるさと]などの童謡からスタートします。全員で合奏できることを第一目標にしてやると、達成感と喜びが同時にやってきます。2月11日には能楽堂で「おさらい会」が実施されました。高橋さんは8月に、掃部山公園で開催される虫の音を聞く会にも毎年出演しています。練習場所：稲荷台小コミュニティハウス和室 第2.3.4土曜日午後1時より

問い合わせ：高橋さん 241-9602

(F)



にしく市民活動支援センターの運営を業務委託 来年度から

西区は人口・面積ともに小さいけれど、自治会・町内会の活動がさかんだといわれています。にしく市民活動支援センターでは、今後、地域の人材を掘り起し、活動支援・情報提供を充実して、市・区・その他団体と連携強化を図るために、来年度から運営を業務委託します。開館は、水曜と年末年始を除く毎日9時～17時で、とても便利になります。地域振興課の尾島担当係長は「まずは地元との信頼関係を構築しながら、理想に向かった新しい活動を考えていく」と話しました。

豆まき(節分会)

円満寺 2月3日



昔と今 藤棚

水道道と保土ヶ谷道が交わる藤棚町の交差点、市電の停留所の脇にある、酒饅頭や甘酒を売る「鈴木屋」という茶店の軒先に大きな藤棚がありました。(昭和初期)



昭和3年の町名変更の際に、横浜市に働きかけたことにより、藤棚町という町名が誕生しました。藤棚はその後戦災で焼けて、今あるのは二代目です。(今)

西区文化祭 創作展

みなとみらいギャラリーで1月7日～13日の間、西区文化祭の創作展が開催されて、文化協会員の絵画・手工芸・写真・書道・華道・文芸の作品と西区子ども会育成連絡協議会の子ども達の作品が展示されました。これに先立って、芸能祭が去年10月、お茶会が同11月に開催されて、会員の日頃の活動成果が発表されました。



お問合せ・申し込みは、
西区文化協会事務局 TEL 3 2 0 - 8 3 9 2 (西区役所地域振興課内)

自転車と歩行者はともだち！ 自転車に新ルール

<路側帯の通行法>
路側帯は自転車だけではなく、歩行者も通行します。



自転車などの軽車両が路側帯を通行するときは、道路の左側部分にある路側帯を自動車や原付と同じ方向に通行しなければなりません。

<ブレーキの検査>

適切なブレーキを備えていないために危険と認められる自転車が運転されているとき、警察官は、その自転車を停止させ、ブレーキについて検査できます。

ブレーキ不備のための応急措置をとらせたり、自転車の運転を中止させることもできます。

Eメール: fujidananp@m.jcnet.jp
FAX: 045-895-0081

投句 当季雑詠で一人2句まで、氏名、連絡先を記載して。次回締切は三月二十日。
巻頭句には粗品を進呈。

寒鯉(かんごい)は、じつとして動かない。その池の中の鯉に雲間から一条の光がさしたのだ。鯉に太陽光のエネルギーを仕込むように・・・

《寸評》

寒鯉に一筋日差し射すところ
七種の小籠の青が陽へと伸びる
立春の空気を詰めてふとん売る
とろろ汁ひげ根一本混ざりおり
仕込み味噌予約受付のぼり立つ
蕎麦券の出にくくなるや静電気
蔦紅葉からみつきたる廃屋に

増田道子
今吉正枝
小野元夫
小泉道子
雨宮則子
吉田光子
中澤明子

藤棚俳壇・選者 三村凧彦

第2回 こども笑店街 ファッション ショウ
5月11日(日) 11時～16時 藤棚1番街
今年は「モデル気分！」で家族写真を撮りませんか？
美容師さんがお子さんをスタイリング
家族で写真館 参加者募集
3歳～15歳までのおこさんと家族(性別問わず)
ヘアセットはお子さんに限ります(先着20組 参加費無料)
申込み・お問合せ: 045-321-9148
(月～金10時～15時 藤棚1番街事務所)
上記時間帯以外は090-4139-0550(今井)

有限会社 **第七有隣堂**
知識を深めて、
楽しみをふやす
お手伝い
教科書、一般書籍、小説、雑誌、
旅行ガイドブック、ラジオテキスト
学生アルバイト募集
西区藤棚町1-43
TEL: 045-231-4041
FAX: 045-262-8172

藤棚新聞ホームページ

<http://www1.ttny.ne.jp/fujidana/>

【発行】藤棚新聞

〒220-0053 横浜市西区久保町17-2

【TEL】090-9683-6099 【FAX】045-895-0081 【メール】fujidananp@m.jcnet.jp